

天然記念物「奈良のシカ」保護計画 令和 6 年度実施結果概要

課題	課題詳細	目標と取組内容	令和 6 年度の実施結果（経過報告）	今後の課題
（１）「奈良のシカ」と人とのふれあいの健全化	１）「奈良のシカ」に関連した人身事故の発生を減少	【目標】 「奈良のシカ」と人のふれあいの健全化のために、人身事故を減らすことは緊急に解決が必要な課題である。このため、「奈良のシカ」による人身事故の発生を減少させることを目標に取組を実施する。 【取組内容】 ① 観光客への普及啓発のための情報提供の継続 ② 子鹿公開、鹿愛護月間等のイベント時における「奈良のシカ」との正しいふれあい方の普及啓発の継続 ③ 人身事故発生時の対応体制の維持 ④ 公園内への飼い犬の持ち込みに関する普及啓発の実施	① 観光客への普及啓発のための情報提供の継続 ② 子鹿公開、鹿愛護月間等のイベント時における「奈良のシカ」との正しいふれあい方の普及啓発の継続 【過年度からの継続実施】 ・鹿せんべい販売店における注意喚起看板設置 ・公園内及び宿泊施設等における注意喚起チラシ配布、近鉄におけるデジタルサイネージ活用 ・注意喚起看板の設置（子育て期・発情期）、動画の公開 【令和 6 年度実施】 ・「奈良のシカ」への加害行為防止パトロール及び普及啓発活動の実施（資料 2-2） ・奈良公園における犬の持込への注意喚起の実施（資料 2-2） ・奈良県立都市公園条例施行規則第 12 条に基づく禁止行為への規定検討（資料 2-2） ・「奈良のシカ」への加害行為 ・奈良公園における犬の持込（リード有無問わず） ③ 人身事故発生時の対応体制の維持 【過年度からの継続実施】 ・奈良の鹿愛護会、奈良公園のシカ相談室、鹿サポーターズクラブ、県によるパトロール ・奈良公園のシカ相談室による人身事故発生時の対応（応急処置、病院の紹介等） 【令和 6 年度実施】 ・角鹿<嚴重>注意の啓発の実施（資料 2-3） 参考：令和 6 年度人身事故件数（R7 年 2 月 28 日現在） ・日本人 49 件（R5：53 件） ・外国人 102 件（R5：45 件） R5 年度は不明 2 件	・注意喚起の継続、強化 ・注意喚起等の普及啓発の効果検証 ・パトロールの実効性を高める仕組みづくり（研修の実施、修了証の交付、手帳の作成・携行など）
	２）鹿せんべい以外の給餌の抑制	【目標】 「奈良のシカ」の健康上の悪影響、生態系攪乱、農業被害の誘発などの恐れがあるため、鹿せんべい以外の給餌を抑制し、安全性が担保されている鹿せんべいを用いた適切な給餌の普及を目標に取組を実施する。 【取組内容】 ① 鹿せんべい以外の給餌の抑制方法の検討 ② 適切な給餌についての普及啓発の継続	① 鹿せんべい以外の給餌の抑制方法の検討 【令和 6 年度実施】 ・鹿せんべい以外の給餌実態調査(R5)の分析（資料2-4） ② 適切な給餌についての普及啓発の継続 【過年度からの継続実施】 ・奈良の鹿愛護会、奈良公園のシカ相談室、鹿サポーターズクラブ、奈良公園事務所によるパトロール ・奈良の鹿愛護会による普及啓発活動 ・鹿せんべいの与え方のパンフレット作成、配布 ・鹿せんべい以外の給餌の禁止看板・ポスターの設置、チラシの配布	・普及啓発の継続 ・鹿せんべいの給餌場所などの検討

			・動画での「奈良のシカ」えさやり禁止啓発	
--	--	--	----------------------	--

課題	課題詳細	目標と取組内容	令和6年度の実施結果（経過報告）	今後の課題
（２）「奈良のシカ」と車両との交通事故の防止		【目標】 奈良公園内を通る道路での「奈良のシカ」と車両との接触・衝突事故を減少させることを目標に取組を実施する。 【取組内容】 ① 道路横断誘導柵や道路標識の設置検討 ② 「奈良のシカ」と車両との交通事故に関する情報発信、普及啓発の継続 ③ 奈良公園内を通る道路における速度制限の検討 ④ 鹿せんべいの適切な販売場所、給餌場所の検討 ⑤ 交通事故発生時の奈良の鹿愛護会の対応の継続	① 道路横断誘導柵や道路標識の設置検討 【過年度からの継続実施】 ・飛火野における実証実験（平成 30 年度～継続中） ・鹿飛び出し注意標識、鹿飛び出し注意反射鏡の設置 ・過年度事故急増箇所（焼門～転害門）沿い道路において、シカ飛出し注意標識及び立て看板の設置（令和 2 年度） 【令和 6 年度実施】 ・ 交通事故実態調査の実施（資料 2-5） ② 「奈良のシカ」と車両との交通事故に関する情報発信、普及啓発の継続 【過年度からの継続実施】 ・SNS を活用した啓発 ・鹿交通事故多発リーフレットによる啓発 ・奈良のシカ愛護月間での広報啓発 ③ 奈良公園内を通る道路における速度制限の検討 ・今年度は検討なし ④ 鹿せんべいの適切な販売場所、給餌場所の検討 【過年度からの継続実施】 ・鹿せんべいの与え方のパンフレット作成、配布 ⑤ 交通事故発生時の奈良の鹿愛護会の対応の継続 【過年度からの継続実施】 ・交通事故通報時の奈良の鹿愛護会による現場対応 参考：令和 6 年度交通事故発生件数（R6 年 12 月 31 日現在） ・奈良公園内 61 件（R5：60 件）、 うち飛火野 11 件（R5：8 件） ※集計単位は毎年 7/1～6/30	・「奈良のシカ横断ゾーン」及び簡易柵設置箇所の展開 ・車両運転者への注意喚起の継続 ・奈良公園内を通る道路における速度制限の検討 ・交通事故防止のための鹿せんべい販売場所、給餌場所の検討
（３）重点保護地区における「奈良のシカ」生息環境の改善	１）奈良公園平坦部における「奈良のシカ」の生息環境の改善	【目標】 重点保護地区である奈良公園平坦部において、「奈良のシカ」の生息環境を改善することを目標に取組を実施する。 【取組内容】 ① 餌環境の改善の検討 ② 休息環境、水場の改善の検討 ③ 自然分娩環境の改善の検討	① 餌環境の改善の検討 【令和 6 年度実施】 ・ 過年度調査結果に基づく生息環境改善に向けた論点整理の実施（資料2-6） ② 休息環境、水場の改善の検討 ・今年度は検討なし ③ 自然分娩環境の改善の検討 ・今年度は検討なし	・シカの餌環境としてのシバ及び堅果類の生産量の推計 ・シバ地の再生、堅果類等の保全、植栽の検討 ・水場、休息場所、自然分娩場所の確保、創出(立入制限区域の設定等) ・自然分娩ができる環境の整備 ・仔ジカや母ジカが身を隠すことのできるような樹木植栽や下草の回復

課題	課題詳細	目標と取組内容	令和6年度の実施結果（経過報告）	今後の課題
（３）重点保護地区における「奈良のシカ」生息環境の改善	２）鹿苑における「奈良のシカ」の保護の強化	【目標】 「奈良のシカ」の保護の取組の中心となっている奈良の鹿愛護会の活動拠点であり、「奈良のシカ」の保護拠点施設である鹿苑の機能強化を図ることを目標に取組を実施する。 【取組内容】 ① 鹿苑のあり方等の検討（R5より新規） ※鹿苑の機能強化については保護計画検討WGにおける検討課題であったが、令和5年度の通報書の提出をきっかけとする鹿苑の特別柵における管理やそのあり方の検討については、鹿苑のあり方等検討部会、ワーキンググループ及び奈良のシカ獣医学ワーキンググループにおける検討課題として位置づける。 ② 鹿苑施設の改修の検討 ③ 「奈良のシカ」の情報発信機能の充実	① 鹿苑のあり方等の検討（R5より新規） 【令和6年度実施】 ・鹿苑のあり方等検討部会、ワーキンググループにおける検討、鹿苑のあり方計画素案の検討（資料4-4） ・奈良のシカ獣医学ワーキンググループにおける現地視察、ガイドライン骨子案の検討 ② 鹿苑施設の改修の検討 【過年度からの継続実施】 ・鹿苑改修工事 ※鹿苑のあり方等検討部会、ワーキンググループ、奈良のシカ獣医学ワーキンググループにおける検討結果を踏まえ工事内容の見直しを行う。 ③ 「奈良のシカ」の情報発信機能の充実 【過年度からの継続実施】 ・奈良の鹿愛護会による体験プログラム、行事・イベントの実施	・鹿苑のあり方計画の策定 ※C 地区におけるシカによる被害対策については管理計画 WG において検討を進める。 ・鹿苑における「奈良のシカ」の収容及び管理・処置のガイドラインの策定 ※奈良のシカ獣医学 WG において検討を進める ・鹿苑のあり方計画及びガイドラインを踏まえた施設の改修 ・鹿苑のあり方計画を踏まえた鹿苑の博物館機能の充実 ・保護への理解や関心を深めるために、ハード対策とソフト対策の両立
（４）「奈良のシカ」による農業被害・生活環境被害の軽減		【目標】 重点保護地区及び保護地区における、「奈良のシカ」による農業被害・生活被害を軽減させることを目標に取組を実施する。 【取組内容】 ① 保護管理基準に基づく農業被害・生活被害の軽減	① 保護管理基準に基づく農業被害・生活被害の軽減 【過年度からの継続実施】 ・奈良の鹿愛護会による保護収容	